



# しじゅうから

福島市小鳥の森通信2017年4月号 No.377

## 小鳥の森で観察してみよう 66

黄色い眉のような模様

頭・背中が黒色

喉はオレンジ色



今回の絵は、あんべ ゆうやさんが描いてくれました。

## キビタキ

分類：ヒタキ科

大きさ：体長14cm

生態：夏に東南アジアから日本の山地に渡ってきて子育てをする。食べ物は昆虫やクモなどで、空中で捕まえて食べる時もある。

小鳥の森での観察：  
小鳥の森ではコナラやクヌギなどの落葉広葉樹の林にすむ。



## 4月の自然予報



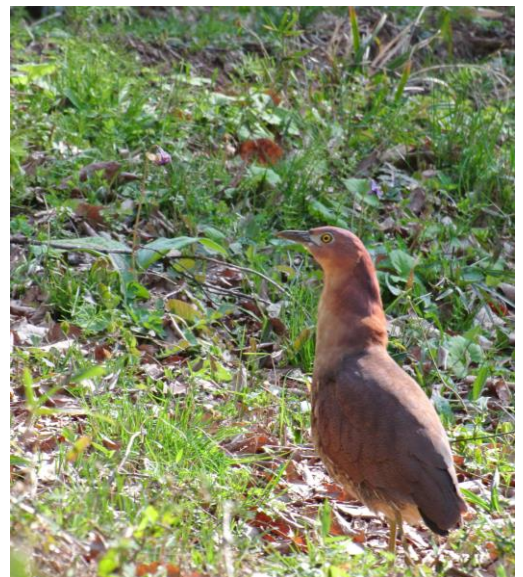
4月の小鳥の森は、まだ移動しないで残っている冬鳥と、子育てのためにやってきたり、もっと北に行くために立ち寄りたりする夏鳥などで、1年で1番たくさんの種類の野鳥を見ることが出来る時期です。

立ち寄りだけの鳥は、1～3日くらいでいなくなってしまう事が多いので、レンジャーでも見逃してしまうこともあります。

昨年は、ニューナイスズメやミゾゴイなど滅多に現れない鳥が見られた年でした。その他にも毎年確認しているサンショウクイやツツドリなども見られましたがあつという間にどこかへ行ってしまいました。

今年の4月はどのような鳥がやって来るのか今から楽しみです。

日にち	種名
2016/4/12	ミゾゴイ
2016/4/19	ニューナイスズメ
2016/4/23	サンショウクイ
2016/4/27	ツツドリ
2016/4/27	クロジ



昨年現れた珍しい鳥ミゾゴイ

# 3月の自然



タネツケバナ



ルリビタキ



オオイヌノフグリ

3月に入ると、野鳥のさえずりが聞こえ始めました。さえずりとは、なわばりを主張したり、メスにアピールしたりする鳴き声の事です。

ウグイスは「ホーホケキョ」とキジは「ケーン・ケーン」と3月上旬には鳴き始めました。また、3月も半ばに入ると、春には高山に移動するルリビタキも「ヒリョヒリョヒリョヒリョ～」と鳴き始め、さえずりの練習をしているようでした。

草花では、3月上旬にはオオイヌノフグリやコハコベ、タネツケバナなどが咲き始め、下旬になるとシュンランやカタクリ、マキノスミシなどが咲き始めました。

草花や野鳥の声などで、春の訪れを感じることができた3月でした。

## 小鳥の森スタッフだより

### ミツバチが作る「ろう」

春になり花が咲き始めると、ミツバチが元気に飛び回るようになります。ミツバチは、花の蜜(みつ)や花粉を集めて幼虫を育て、家族をどんどん増やします。そして、自分たちの巣を大きくしていくのです。

さて、この巣が「キャンドル」になることを知っていますか？ミツバチは蜜がしみ出ない防水性の巣を作るために、おなかの部分から「蜜ろう」と呼ばれる「ろう」を作り出します。このろうで、六角形がたくさん並んだ巣を作ります。

人間は数千年前に、この巣に芯を巻きつけて「キャンドル」として使うことを考え出しました。今でも、蜜ろうを使った素敵なキャンドルを作る方がいます。

花の周りを忙しく働くミツバチを見かけたら、甘いハチミツだけでなく、天然のキャンドルも人間に分けてくれたことを思い出して下さいね。



(スタッフ 黒沢 さち子)

## 小鳥の森ボランティアガイド養成講座参加者募集中

現在、小鳥の森では「小鳥の森ボランティアガイド養成講座」の受講生を募集しています。5月から2月までの講座で、植物や野鳥、リスクマネジメントなど、全8回の講座を受講すると、来年度から小鳥の森ボランティアガイドとして登録し、活動することができるようになります。

1回目は5月27日

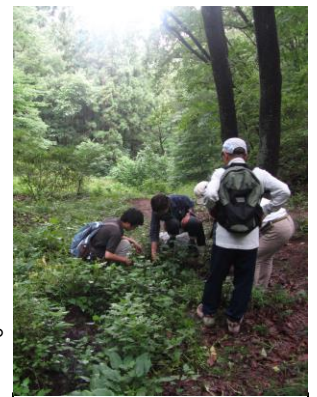
(土) 10時～13時

「説明会と園内

ウォーキング」を

行います。

興味のある方は、小鳥の森ネイチャーセンターまで電話でお申し込みください。



昨年の活動の様子

※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。  
詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

\*小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森(ネイチャーセンター) 開館時間: 午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日: 毎週月曜日(祝祭日の時はその翌日)

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2017年4月号No.377/企画・発行: 福島市小鳥の森/日本野鳥の会ふくしま